

ます 校訓	友 勤 自 愛 勉 治	 令和8年度 東中だより 第7号	発行日	令和8年7月17日
教育目標	多様化の時代を生きる 心身ともにたくましい生徒の育成		発行者	伊丹市立東中学校 校長 前田 徳三

【1学期終業式校長講話】

1学期は、修学旅行、トライやる・ウィーク、林間学舎がありました。どの行事でもとてもよい思い出ができたことと思います。（中略）

1年生は、林間学舎では、自治を通して助け合い、学び合いながら実りある活動ができた。実施後も互いを思いやる気持ちを大切に、この学びを今後の生活につなげていきたいと述べてくれました。2年生は、トライやる・ウィークで学んだことを今後の進路や学校生活に生かす。東中ソーランに向けて、当たり前のことを当たり前に行えるよう行動する。そのために、強い自覚と誇りを持って行動すると力強く語ってくれました。3年生は、勉強への意識を高め、修学旅行を自分たちでつくり上げる中で、自覚と責任感を持ち、仲間と支え合いながら成長することができたと述べてくれました。どの学年も、様々な行事を経験するたびに大きく立派に成長しました。行事を終えた後に見せてくれる明るい笑顔を見ると、皆さんの頑張りや達成感が伝わり、私も心からうれしくなります。

目標達成!

また、先日の市内総合体育大会も多くの競技の応援に行きました。（中略）

さて、夏休みは普段の生活よりも自由に使える時間がたくさんあります。自分で考え、選び、決めて行動する機会が増えます。だからこそ、この夏休みにはぜひ、これまで触れたことのない世界に目を向けてほしいと思います。（中略）

そこで、今日は「挑戦」について話をしたいと思います。私は、挑戦とは「できたか、できなかったか」ではなく、「やったか、やらなかったか」だと考えています。ただ、誰でも失敗はしたくないです。うまくいかなかったときの悔しさや恥ずかしさを思うと、一步を踏み出すことが怖くなることもあります。しかし、失敗を恐れて挑戦しなければ、自分の力を伸ばす大切なチャンスを逃してしまいます。

例え、思いどおりの結果にならなくても、挑戦した経験は必ず次につながります。挑戦することで新しい発見があり、自分の可能性に気づくこともできます。そうした積み重ねが、皆さんを大きく成長させてくれます。

FIFAワールドカップに、日本代表として出場した長友選手は「ミスの中に成功のチャンスがある」「失敗は心を豊かにしてくれる」と語っています。長友選手は失敗したとき、「なぜ失敗したのか（WHY）」ばかりを考えるのではなく、「次はどのようにすればよいか（HOW）」に切り替えて考えるそうです。失敗を責め続けるのではなく、その経験を次につなげることが成長への第一歩になると言われています。



また、発明王トーマス・エジソンも、「失敗すればするほど、成功に近づいている」という言葉を残しています。エジソンは数えきれないほどの失敗を経験しながらも、決してあきらめず挑戦を続けました。その積み重ねが、世界を変える大きな発明へとつながりました。

私たちも同じです。例えば、自転車の練習を思い出してください。最初から上手に乗れる人はいません。何度も転び、失敗を繰り返しながら、それでも挑戦を続けたからこそ乗れるようになりました。そして、初めて乗れたときの喜びは、失敗を乗り越えた人だけが味わえる大きな達成感であったと思います。

世の中には、失敗から生まれたものがたくさんあります。ノーベルのダイナマイトや万年筆、ポテトチップスなども試行錯誤や思いがけない失敗の中から生まれました。新しい発見や成長は、いつも失敗のすぐそばにあります。だからこそ、「失敗は成功の母」と言われるのだと思います。

学校は、間違えてもよい場所です。わからないことに挑戦し、失敗し、そこから学ぶ場所です。失敗したときには、「次にどうするか」を考える力を身に付けてほしいと思います。その力は、勉強だけでなく、将来どんな困難に出会ったときにも必ず役立ちます。（中略）

失敗から学ぶことは、子どもも大人も同じです。失敗したときこそ、自分を見つめ、工夫し、新しい可能性を切り開くことができます。雑草は踏まれるほど根を張り、たくましく成長します。どうか、失敗を恐れないでください。失敗は終わりではなく、新しい成長の始まりです。難しいことに会ったときこそ勇気を出して一歩踏み出し、何度でも挑戦してください。その挑戦の積み重ねが、未来の自分を大きく成長させてくれます。挑戦する人には、必ず成長するチャンスがあります。皆さんには、失敗を恐れず、夢や目標に向かって力強く歩み続ける人になってほしいと願っています。私もこの夏、初めてのことに挑戦します。チャンスは待っていてもやってくることはありません。同時にチャンスとは目に見えないものです。報われない努力はありますが、無駄な努力はありません。



エメットの法則には、タスク（やらなければいけない課題）を行なうことへの不安はタスクの実行そのものより、多くの時間とエネルギーを消耗すると言います。先送りせずに、この夏休みは失敗を恐れず、新しいことに挑戦してください。

最後になりますが、1・2年生の皆さんは、部活動の地域展開などの活動に参加してください。まだ決めていない人は是非、何かしたいことを決め、自分が夢中になれる活動に取り組んでください。仲間とともに努力した経験や築いた絆は、一生の財産になります。3年生の皆さんは、自分の将来と真剣に向き合う夏にしてください。進路選択は「行ける学校」ではなく、「行きたい学校」を目指すことが大切です。自分の夢や希望を見据え、自らの可能性を信じて努力を続けてください。

2学期の始業式には、一回り成長した皆さんと元気な笑顔で再会できることを楽しみにしています。（略）